



2010 第63号 平成22年1月15日 発行：熊本県人吉市議会/編集：議会報編集委員会

市のホームページでもご覧になれます。

<http://www.city.hitoyoshi.kumamoto.jp>
E-mail gikai@city.hitoyoshi.lg.jp



議会制度研究会を設置しました

めまぐるしく変革する社会において、地方議会の役割がますます重要性を増しています。そういった中、議会制度についての改正が検討されています。これらのことを踏まえ、住民に責任をとりうる議会、住民に開かれた議会とするべく検討しております。この「議会制度研究会」を12月18日に設置いたしました。

○委員長 立山 勝徳 ○副委員長 森口 勝之
○委員 松岡 隼人・豊永 貞夫・川野 精一・松田 茂・永山 芳宏・本村 令斗・仲村 勝治・下田代 勝

【議会の主な行事】（平成21年10月～12月）

12月

24日 議会報編集委員会（12月議会分）
18日 議会運営委員会・全員協議会
16日 予算委員会・全員協議会
15日 総務文教委員会・厚生委員会・経済建設委員会
14日 総務文教委員会・厚生委員会・経済建設委員会
11日 議会運営委員会
10日 予算委員会・全員協議会
2日 球磨川水系の治水及び防災に関する特別委員会
公益的施設の適正配置に関する特別委員会
全員協議会

11月

30日 議会運営委員会
30日 全員協議会
24日 全国市議会議長会産業経済委員会
20日 12月18日 第8回定例会
20日 議会運営委員会
19日 熊本市議会行政視察来入
18日 愛知県豊田市議会行政視察来入
17日 広島県呉市議会行政視察来入
17日 静岡県伊豆の国市議会行政視察来入
17日 決算特別委員会
13日 全員協議会
11日 南九州中部市議会議長会要望会
11日 南九州中部市議会議長会要望会
9日 経済建設委員会行政視察
9日 厚生委員会行政視察
5日 5日 6日 広域行政圏市議会協議会理事会
4日 総務文教委員会行政視察

10月

29日 九州治水期成同盟連合会第2回要望
28日 徳島県小松島市議会行政視察来入
27日 国道267号改良促進期成会要望会
22日 東京都目黒区議会行政視察来入
21日 第4回全国市議会議長会研究フォーラム
16日 議会運営委員会・第7回臨時議会・厚生委員会
13日 公益的施設の適正配置に関する特別委員会
8日 熊本市議会議長会
6日 議会報編集委員会（9月議会分）
2日 長崎市議会行政視察来入

総務文教委員会報告

●委員長 下田代 勝 ●副委員長 川野 精一
●委員 西 信八郎・永山 芳宏・本村 令斗・仲村 勝治・大王 英二

総務文教委員会には、専決処分案件 1 件、条例等案件 2 件、平成 21 年度一般会計補正予算案件等、及び陳情案件 3 件について付託を受けました。

専決処分案件は、新型インフルエンザ予防接種補助金として、予備費を 1,325 万円減額補正するものであります。

条例案件としましては、人吉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定であり、消防法の一部改正に基づくものであります。内容は、消防救急活動の中で、傷病者の搬送及び受け入れの迅速化・適切化等を図るものであります。

損害の賠償は、市の公用車と市民の乗用車との接触事故であります。事故の負担割合は、人吉市 9：市民 1 でありまして、賠償額は、13 万 5 千円であります。委員会は、度重なる事故に対し、イベント等のあり方、職員管理、市全体の機構等について、問題・課題を徹底して、検証究明するよう強く申し入れました。

予算案件としましては、歳出の主なものとしまして、9 款消防費に全国瞬時警報システム（ジェイアラート）受信設備工事費 302 万 6 千円が計上されております。

10 款教育費に、教育総務費委託料 556 万 6 千円、備品購入費 1,030 万 2 千円の減額補正があります。これは、国の地域情報通信技術利活用推進交付金 2,000 万円の減額によるものです。

2 項小学校費に、市内全小学校にエアコン 205 台設置の

ため 2 億 6,061 万円が計上されています。

3 項中学校費に、市内全中学校にエアコン 132 台設置のため、1 億 4,309 万円計上されています。

また、債務負担行為の追加変更としましては、庁舎清掃業務委託料限度額 1,020 万円。第 4 次電算システム導入事業（住民情報）限度額 1 億 8,423 万 5 千円、第 4 次電算システム導入事業（財務システム）、給食配送等委託料限度額 1,850 万 5 千円。図書館管理システムリース料の変更は、限度額 2,667 万 6 千円を 1,182 万 8 千円となります。

何れも慎重に審査いたし、厳しい申し入れもいたしまして、全会一致認める事に決しました。



東間上町防火水槽撤去の説明を聞く総務文教委員会

厚生委員会報告

●委員長 田中 哲 ●副委員長 松岡 隼人
●委員 豊永 貞夫・笹山 欣悟・三倉 美千子・簗毛 正勝

厚生委員会に付託されました条例案件・予算案件・陳情案件等について主なものをご報告をいたします。

＜案件議案＞ 議第 116 号市有財産の譲与については、これは人吉市養護老人ホーム延寿荘、人吉市知的障害者授産施設希望ヶ丘学園及び人吉市知的障害者授産施設うぐいす荘の民営化を図るために、3 施設の建物部分と付属構造物を社会福祉法人人吉市社会福祉事業団に対し財産の譲与を行うものであります。

＜専決処分案件＞ 議第 93 号専決処分の承認を求めることについて（平成 21 年度人吉市一般会計補正予算（第 6 号））の第 1 条歳出予算の補正の内、4 款衛生費の 3,711 万 9 千円は、新型インフルエンザ接種に対する補助金で 1 万 8,324 人分の 2 回分であります。

＜予算案件＞議第 95 号平成 21 年度人吉市一般会計補正予算（第 8 号）の内、3 款民生費の歳出の主なものは、社会福祉費の繰出金 6,500 万 1 千円の増で、国民健康保険事業特別会計へ 4,940 万 6 千円、介護保険特別会計へ 1,569 万 8 千円の増。介護サービス事業特別会計への繰出金は 10 万 3 千円減額であります。老人福祉費の負担金・補助及び交付金は、高齢者住宅改造助成事業補助金 250 万円と地域密着型サービス拠点等施設整備補助金 3,330 万 2 千円の増額であります。児童福祉費の負担金・補助及び交付金の主なものは、次世代育成支援対策補助金 1,600 万円、軽度障害児保育事業補助金 2,007 万 1 千円、放課後児童健全

育成事業補助金 2,245 万 2 千円の増額と子育て応援特別手当給付金 3,600 万円の減額などであります。生活保護費の扶助費の 2,505 万 8 千円の増額は、今年 10 月の前年度比で 48 世帯、76 人の増分であります。特別会計は議第 99 号平成 21 年度人吉市国民健康保険事業特別会計（第 5 号）外 4 件の審査を行いました。専決処分案件 1 件、条例案件 1 件、予算案件 6 件、案件議案 3 件を全員異議なく原案どおり認めることに決しました。

＜陳情案件＞「産業廃棄物処理施設計画中止の意見書提出を求める陳情」は陳情の取り下げを認め、「消費税増税に反対し、住民税を元に戻し、社会保障の充実を求める陳情」を不採択とし、「改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書の提出を求める陳情」を採択しております。外 2 件を継続審査といたしました。



保健センターを視察する厚生委員会

経済建設委員会報告

●委員長 森口 勝之 ●副委員長 松田 茂
●委員 井上 光浩・村上 恵一・福屋 法晴・立山 勝徳・山下 幸一

経済建設委員会に付託されました、平成 21 年度人吉市一般会計補正予算（案）2 件、工業用地関連補正予算（案）及び陳情案件について審査の結果を報告します。

まず、議第 95 号平成 21 年度人吉市一般会計補正予算のうち農林水産業費は、6,964 万 1 千円を追加し、補正後の総額を 4 億 6,198 万 5 千円とするものであります。主なものは、人吉市森林組合の間伐計画に対する補助金 935 万 9 千円、これは、国土保全など森林の公益的機能の維持を目的とする「森を育てる間伐材利用推進事業」に基づくものであります。また、「緑の産業再生プロジェクト促進事業」に基づき 5,942 万 4 千円を追加しておりますが、これは球磨川流域林業事業協同組合が購入する林業機械 4 台分合計 6,929 万 8 千円のうち 3,632 万 4 千円、(有)青井運送が購入する林業用トラック 2 台分合計 4,410 万円の内、2,310 万円を補助するものであり、国県で 55%を補助するものです。

商工費には電機使用料として 29 万円を追加し補正後の総額を 8 億 5,463 万 6 千円、土木費は 2,939 万 2 千円を追加して補正後の総額を 17 億 951 万円とするものであります。主なものは、道路台帳更新業務委託料 306 万 6 千円、道路改良に関する県営事業に対する負担金 1,500 万円であります。さらに今年 7 月に発生した豪雨災害の復旧費として農業施設・公共土木施設に対して合計 774 万 8 千円が計上されております。

次に、議第 119 号の一般会計補正は、労働費に 3,120 万 9 千円を追加し補正後の総額を 1 億 8,436 万 2 千円とするものであります。これは、12 月から雇用しております作業系臨時職員 101 名分を 2 ヶ月間延長雇用するための賃金、車借り上げ料、備品費等であり、全額を県からの緊急雇用創出交付金で賄うものであります。

次に、議第 108 号人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算は事業費と予備費の組替えを行うものであり、歳入歳出予算の総額を 5,759 万 7 千円とするものです。

上記予算案件 3 件につきましては、慎重審査の結果、全員異議なく認めることに決しました。

次に「仕事のない事業組合への 4,000 万円以上もの血税のムダ遣いをやめて、事業組合の解散を決議すること」を求める陳情については、これまでの経過や現状を踏まえながら慎重審議の結果、不採択と決しました。



立野団地を視察する経済建設委員会

予算委員会

●委員長 三倉 美千子 ●副委員長 井上 光浩
●委員 全議員

予算委員会に付託された一般会計補正予算の歳入および地方債に関しまして、審査の結果を報告いたします。

議第 93 号専決処分の承認を求めることについて、平成 21 年度人吉市一般会計補正予算（第 6 号）は、保健衛生県補助金 2,386 万 9 千円の増額で、新型インフルエンザワクチンの優先接種者、低所得者への接種費用の一部を市が補助するものです。

議第 95 号人吉市一般会計補正予算（第 8 号）の主なものは、消防費補助金 302 万円の増額で、全国瞬時警報システム（ジェイアラート）を整備するもので、委員からは、

事業費と内容について、また自立支援給付費負担金 1,664 万 3 千円の増額では、介護報酬 3 パーセント増の影響について、市内小中学校の教室空調設備設置のための増額では、いつごろ完了するのかなどの質疑がありました。

議第 119 号人吉市一般会計補正予算（第 9 号）では、労働諸費補助金 3,120 万 9 千円の増額について審査を行いました。

いずれの議案も全会一致で原案どおり決しました。

議会運営委員会

●委員長 永山 芳宏 ●副委員長 西 信八郎
●委員 松岡隼人・福屋法晴・森口勝之・田中 哲・立山勝徳・下田代勝

12 月定例会においては、採決・閉会までに、①提出議案、陳情案件、会期日程案、議案質疑及び一般質問の取り扱いについて、②討論、要望書について、③追加議案（緊急雇用対策に関する平成 21 年度人吉市一般会計補正予算）について、④陳情、委員会付託、議会運営委員会の行政視察に関する委員派遣について、閉会中の継続審査について、⑤討論について、⑥意見書案 3 件について、計 6 回の委員会を開き、いずれも慎重審議いたしました。12 月 4 日には、一般質問者 14

名の登壇順番を決める抽選を行いました。

議会運営委員会の行政視察を、22 年 1 月 18 日(月)～ 20 日(水)に実施します。佐賀県伊万里市では議会改革、議会運営全般について、長崎県大村市では議会基本条例の制定について、議会活動報告、議会運営全般について視察を予定しております。

球磨川水系の治水及び防災に関する特別委員会

●委員長 山下 幸一 ●副委員長 村上 恵一
●委員 井上 光浩・豊永 貞夫・川野 精一・森口 勝之
田中 哲・本村 令斗・下田代 勝

球磨川水系の治水及び防災に関する特別委員会を、12月2日に開会し、人吉市洪水ハザードマップに伴う浸水想定地域（御溝川流域）についての現地調査を行いました。その後、10月20日開催されました、第5回「ダムによらない治水を検討する場」についての結果報告を受けております。

まず、現地調査においては、今回は、御溝川流域について調査を行い、御溝川取水口（山江村を起点とし）、井ノ口町の第1放水路、合ノ原町山入川と御溝川合流点、瓦屋町立野団地周辺、西小学校登校口、城本町元金子商店周辺、駒井田町周辺等々について、調査を行い、現地において、市執行部から河川の現状と出水時の状況について説明があり、委員から質疑がなされ、それぞれ確認をしました。委員からは、土地改良区の受益地や御溝川の生いたちを知りたい、御溝川だけでなく、他の13河川についても現地調査すべき、今回は、公共施設、病院、避難所等を確認し現

地調査すべきでは、状況確認をする上では、災害時の現地写真を撮っておくべき等の意見がありました。

次に、第5回「ダムによらない治水を検討する場」の報告については、市執行部より、これまでの検討結果に対する、意見を踏まえ、今回は「今後の治水対策への取組み方針案」として、国からの治水対策案が示された。第6回以降提案に対し、実際の計算をし、その効果について、検証がなされることになっているとの報告がありました。委員から、次回（第6回会合）の開催日の質問があり、答弁として、国土交通省は12月末頃の開催を予定している。

また、第6回会合の結果について、現地調査も踏まえ国土交通省から現地で説明を受けてはどうかとの意見もあり、委員会としましては、「ダムによらない治水を検討する場」の開催状況等推移を見ながら、現地視察を含め国土交通省から説明を受けることとしております。

公益的施設の適正配置に関する特別委員会

●委員長 立山 勝徳 ●副委員長 三倉 美千子
●委員 松岡 隼人・笹山 欣悟・西 信八郎・松田 茂
永山 芳宏・福屋 法晴・仲村 勝治

10月13日と12月2日に開催した特別委員会をまとめて報告を致しますが、総合病院経営について、前政権の民営化方針から、新政権では公的経営に変わる流動的な情勢下での審査であり多岐にわたりますので概略を報告致します。市が所有している梢山工業団地、能力開発センター、市庁舎別館周辺に、総合病院が移転する場合、市や市民にとってどのようなメリット、デメリットがあるか。執行部の検討結果では、梢山工業団地に移転する場合、工業団地の目的外使用となり国からの補助金、利子補給金の返納と、多目的運動広場の代替地検討や、郊外移転による患者の利便性低下などがあります。能力開発センターでは、現在使っている能力開発センター及びシルバー人材センターを移転させなければならず、又面積も不足します。市庁舎別館周辺では、市役所別館、保健センター、勤労青少年ホーム、弓道場、総合福祉センターなどを移転しなければなりません。これら移転に必要な経費などを、原因者である総合病院が負担するものと市が負担するもの、両方で協議して決めるものに仕分した積算の結果では、市として最もマ

イナスポイントが少ないのは梢山工業団地、次に能力開発センター、市庁舎別館周辺となります。一方総合病院としては、見積りした梢山の造成費が予想よりも高い。患者へのアンケート結果、また現在の病院施設や廃止される高等看護学校施設を有効に利用するためには、市庁舎別館周辺か現在地がよいとの考えであり、執行部の結論と総合病院の考えは両極端にあります。一方建設資金は国の医療施設耐震化交付金を申請されていますが、交付される額は熊本県枠で41億8千万円、申請した県内病院数は26病院、総合病院は11億9千万円の申請をされているとのことですが、満額を認められるかは不透明であります。内示の時期も12月末とのことであり、またこの交付金を使うためには平成23年3月31日までに着工しなければならない時間的制約もあります。概略以上のような説明に対して委員から多くの質疑や意見が出されましたが、それらをふまえながら、耐震化交付金の確定や、時間的制約を含めて諸条件をクリアできるのか、総合病院側の判断と対応を見守ることに致しました。

※ 中心市街地活性化に関して
答 実物展示にむけて検討する。

問 歴史的資料の活用に関して、現在はパネル展示が多いが、是非、実物を展示してほしい。
答 明文化にむけて検討していく。

問 歴史的資料等の寄託に関して規則や要綱として明文化すべきでは。
答 明文化にむけて検討していく。

問 歴史的資料等の寄託に関して規則や要綱として明文化すべきでは。
答 明文化にむけて検討していく。

問 歴史的資料等の寄託に関して規則や要綱として明文化すべきでは。
答 明文化にむけて検討していく。

問 歴史的資料等の寄託に関して規則や要綱として明文化すべきでは。
答 明文化にむけて検討していく。

問 歴史的資料等の寄託に関して規則や要綱として明文化すべきでは。
答 明文化にむけて検討していく。

問 歴史的資料等の寄託に関して規則や要綱として明文化すべきでは。
答 明文化にむけて検討していく。

問 歴史的資料等の寄託に関して規則や要綱として明文化すべきでは。
答 明文化にむけて検討していく。

問 歴史的資料等の寄託に関して規則や要綱として明文化すべきでは。
答 明文化にむけて検討していく。



は、公約項目を白紙撤回されましたので、「シルバーステーション構想」（私案）を提案しました。

公共工事の実施時期や内容に關して、なるべく早い段階での情報発信を要望しました。

農工商連携の進捗状況について 井上 光浩

問 いくら栽培の進捗状況と現在の状況の問題点は。

答 菌床の安定供給ができない現状の中、生産量は伸び悩んだ状況だが、菌床生産のめどが立ち、来年二月には製造が開始される予定で、安定した収入が確保できればと考えている。

問 今年導入されたトウガラシの生産状況、今後の取り組みは。

答 最終生産目標が乾燥重量で、五トン、一キロ二十円、十アール当たりの粗収益は五十万円程度を見込み、新規農家への加入促進で本年度以上の数量を確保したい。

問 雇用状況悪化が及ぼす影響は。

答 昨年並みでも回復していない状況にあり、今後も厳しい情勢が続いている。職を求めて他地域へ転出される方々の増加も想定され、人口減少の加速化も考えられる。

問 医師会との災害時要援護者

に対する連携は。
答 現在は医師会との協定は締結していないが、今後検討を進めて行きたい。

九州新幹線全線開業と当市観光施策 松田 茂

問 民主党政権について、どう考えているか。

答 現在の現政権がどうであるかについては、差し控えたい。事業仕分けが当市にあたえる影響は。

答 本市が受ける影響は不明である。国の動向を見極めながら、来年の予算編成にはあたりたい。

問 本年四月に行なった機構改革の検証はなされたか。

答 現時点では行なっていない。来年一月か二月頃には検証をしたい。

問 新幹線開業を見据え、これまでの観光施策の効果は。

答 官民一体となったじゅぐりつと博覧会やSL、青井さん効果などにより経済効果は大きなものがあつた。

問 観光の次なる一手の考えは。

答 九州全域を捉えた温泉アイランド構想、その中で温泉博覧会や、矢岳駅に残るD51の復活運行、しかしながら多くの課題が山積している。出来る限りの知恵と情熱をかた向けて、今後広域連携を図り

ながら、実現に向け努力したい。

くま川鉄道の運営管理について 山下 幸一

問 現在のくま川鉄道の基金並びに財政状況について、今後どのような管理運営をなされていけるのか。内容として現在の基金残高は。車輛老朽化に対し車輛修繕等の部品調達はできるのか。国の事業仕分けによる影響は。車輛購入負担割合は。

答 くま川鉄道基金については、平成元年基金運用開始以来、金利も好調で基金運用利息のみで赤字補填ができていたがバブル崩壊により、金利が低迷し運用利息が大幅に落ちこみ、更に車輛修繕経費が増大したことが重なり基金の原資を取り崩さざる得なかったため基金が大幅減額となった。車輛、線路、鉄橋等の老朽化が進んでおり修繕費が増加するだろう、車輛修繕に伴う部品調達は数社が製造しており、支障なしとのこと、国の事業仕分けについては、鉄道軌道輸送高度化事業費補助が縮小されると、整備計画に支障をきたす。
※その他、市道中神地内第八号線道路改良、国宝青井阿蘇神社周辺への防火水槽設置について質しました。

高速バス停留所の待合室の整備について 笹山 欣悟

問 高速バス停留所の待合室は狭く、三、四人しか入れないため雨の日や寒い日は外で待つことになり、利用客にとって不便という声がある。市では利用状況を把握しているのか。また、現状を認識しているのか。

答 実際にどのくらいの方が利用しているのか把握できないのが現状である。現状の認識については、観光客等の利用増加に伴い、改善の要望等もあっていることは十分に認識している。同様に運行業者である産交バス会社においても十分に認識されている。

問 市として、待合所の整備について事業者に対する支援、関わり方についてはどのような考えを持っているのか。

答 人吉の玄関口であり、安全性・利便性、快適性という観点から改善は重要な課題と受け止めている。今後も引き続き、改善に向けた協議を続けてまいりたい。

※その他、国の事業仕分けによる影響、行政改革の評価と今後の取組み、教職員の労働安全衛生の取組みについて質問しました。

観光振興とその持続に向けて 立山 勝徳

問 国宝青井さんと、SL人吉の運行がもたらした観光効果は。

答 青井神社の参拝者は、SLが走った今年五月から十月までで二万一千人、昨年同期に比して一六一・三%増、同じ時期の宿泊者は、回答があつた施設の集計だけで、六万四千八百人、一〇・六%増、同じ時期の主要観光施設での観光客集計では二十一万四千七百人で一四二・一%の増加、SL人吉の来客は、三万二千人、人吉駅の入場者は一万一千五百人で青井さんとSL人吉の相乗効果は大きかった。又、熊本県やJRなどのポスター、パンフレット、テレビ等のCM発注と、テレビ、新聞、ラジオ、雑誌などメディアの情報発信による宣伝効果は計りきれないものと感謝している。
※又、青井さんの案内説明料に對して寄せられた苦情や不満の原因と対策、自主活動グループの状況や各種イベント。九州新幹線の開通と連携、D51運行への夢、郡市一体の観光戦略などについて質問と意見を行いました。他に常備消防の広域合併についても質問。

生活を守り納税力を回復させる徴税を

本村 令斗

問 税金を払いたくても払えない滞納者の増加は、政治によって生み出されたもの。滞納者に対しては、「支払い能力がある方」と「支払い能力がない方」を、明確に区分して対応すべき。

答 そのような対応をしている。

問 地方税法は、「滞納処分によって生活を著しく窮迫させるおそれがあるときは、滞納処分の執行を停止することができる」としている。この制度にもとづいて遂行すべき。

答 財産調査の結果、納税の能力がないと判断した場合、滞納処分の執行停止をしている。また納税相談では、納税の猶予の措置があることも知らせている。

問 納税相談を充実させ、①多重債務には弁護士を紹介、②生活保護基準以下の家庭は、担当課への取り次ぎを行うべき。

答 ①消費生活センター、法テラス、司法書士に相談されるよう助言、②生活保護担当課へ紹介している。

※最後に、低所得者の所得が減った場合に住民税が減免される制度を、設置するよう要望しました。

人吉のまちづくり・教育・文人通り等

下田代 勝

問 地域資源（人文・自然等）を活かした「まちづくり」は。世界の珍種三十種、希少種約五百種の植物園、ジーンバンクの設立は。

答 青井阿蘇神社、球磨川、城址、焼酎、温泉、SL運行等を活かし、植物園は、場所等設置展開のための検証を行う。

問 人吉市の都市像は。

答 中世、鎌倉に想いを馳せ、西の鎌倉として整備を行う。

問 技術・技能系の中・高一貫教育の推進は。働く事を尊ぶ産業教育、誇れる郷土学、職等の人間学の推進は。

答 技術、技能系の中・高一貫教育については、県及び関係機関と協議検討を進める。産業教育等は地域等と連携し、職場体験等を進める。

問 人吉を訪れた、又係わりのある文人等の文人通りの設置は。

答 提案を活かし、歴史街道等の中で実現をはかる。

問 高速道鬼木地区の遮音壁は。

答 調査を重ね要望を強めている。

※学校での相談所、ティーチャーズステーションも質しました。

薬物乱用防止対策について

西 信八郎

問 芸能人の薬物乱用がマスコミで報道されているが、教育現場ではどのような教育、または対策を取られているのか。

答 薬物乱用防止教育は、極めて重要なことであり、授業を通じて薬物に関する正しい知識を身に付け、心身の健康や社会への影響などについて理解を深め、自ら判断し、行動する能力を身に付けることができるように、それぞれの発達段階に応じた指導を行なっている。また、警察署員や学校薬剤師に協力を依頼し、市内七校で薬物乱用防止教室を実施した。

問 義務教育の中では、ガンがどういうものなのか、また、ガンにかからないような教育はなされているのか。

答 ガンの正しい知識を指導することは、生涯にわたり、自分自身や家族の健康を守ることに必要、今後も、健康教育の重要な課題と位置づけて取り組んでいく。

※他に性同一性障がい児対策について質問しました。

薬物乱用防止教育について

豊永 貞夫

問 薬物乱用への入り口になるのは、タバコの喫煙が起因となることと大きいと言われているが、学校敷地内全面禁煙の現状と取り組みは。

答 市内小、中学校での敷地内全面禁煙を実施している学校は無い。建物内禁煙と建物内喫煙場所設置等の対応をしている。今後の取り組みとして、保護者等学校関係者にご理解とご協力を求めながら、禁煙対策を図って参りたい。

問 子ども手当は当初、全額国費を充てるとされていたが、地方や事業主も負担することが、検討課題になるとの報道もされている。田中市長の考えは。

答 少子化対策の有力な手段として非常に期待しているが、地方自治体の厳しい財政状況において、その一部を負担することは著しく困難である。ぜひ、国費でお願いしたいと考えている。

※その他、人吉市社会福祉事業団の療育センター事業について、高齢者福祉の「救急医療情報キット」の導入について質しました。

学術資料（シダ標本）の活用は

仲村 勝治

問 学術資料として、平成五年度にシダ類が購入され、数年かけて標本が作成された。現在まで角櫓の中に保管されたまま展示される気配がない。標本活用の考えはないのか。

答 角櫓は倉庫として申請してあり、保管場所として活用している。今後、専門家や県等、関係機関から意見を聞き、常設展示ができるか検討する。人吉城歴史館の特別展やテーマ展等の中で標本の展示をしてみたい。

問 角櫓は、内部を見せて、観光資源として活用できないか。

答 シダの展示を含め、人吉の歴史を学べるような絵や写真によるパネル展示を中心とした活用ができないか検討したい。

問 道路照明施設設置基準が改正されたが、内容は。

答 歩道等の利用者が道路を横断するおそれがある所や車両が車線を逸脱する所、また局部照明では、歩道や道の駅等休憩施設が追加された。

問 暗い交差点の安全確保は。現地状況を調査し、安全な通行が確保できるように検討する。

自殺予防対策、尊い命を救うために

村上 恵一

問 全国での自殺者が、十一年連続で三万人を超えている。当市の過去の自殺者の数、理由等は把握しているか。

答 県の人口動態統計調査から、五年間の累計で五十四名。その原因だが、県警の資料によれば第一位が健康問題、第二位が経済生活問題、第三位が家庭問題とのことである。

問 特に、経済生活問題の伸びが顕著とのこと。市として、対応策を検討したことはあるか。

答 管内では十月十三日に「人吉球磨自殺対策専門部会」が発足し、現状把握や今後の方向性について、申し合わせた。

問 国の自殺対策百日プランと連動し、単独の啓発パンフレットを作成し、単身世帯にも漏れなく配布することと同時にメンタル面のケアと債務問題に対応できる相談体制強化が必要では。

答 市としては、部会をベースとして、市民課くらし安全相談係等の他、全庁的に情報共有、連携を図りながら、雇用や経済対策を含めたセーフティネットの確立強化を推進したい。

防火対策および観光振興策について

森口 勝之

問 全国瞬時警報システム（ジェイアラート）の概要、目的は。

答 時間的に余裕がない大規模な自然災害や武力攻撃等についての緊急情報を、国から市町村等へ瞬時に伝達し、さらに、防災行政無線を設置してある地域においてはサイレンや音声等により、直接住民まで伝達することのできる防災システムである。

問 人吉、球磨管内において防災行政無線を設置している自治体としていない自治体はどこか。

答 人吉市と錦町が未設置である。

問 人吉盆地という同一地域内で緊急事態に対する住民への伝達に格差があるというのは、国民保護法や大災害発生時の対応についても問題があると考えるか。

答 本市システムの基本構想等を策定し、防災行政無線の早期整備実現に向け取り組んで参る。

問 新幹線全線開通に向け、観光客誘致の地域間競争が激しくなっている。文化財の宝庫、みほとけの里である我地域の目玉として、相良三十三観音様を一同にして大展示会の企

画はどうか。
答 充分に検討して参りたい。

中山間地有害鳥獣駆除対策

福屋 法晴

問 有害鳥獣駆除に携わられる方々が今後高齢化した時の対策は。又、新規に狩猟免許を取得された方々が、有害鳥獣駆除隊に登録された後、免許取得に対し一部補助金の適用が出来ないか。

答 駆除隊は、六十歳代が中心で、駆除隊が減少する事を危惧している。今後は、地域住民一体で追払い活動をお願いしていきたい。補助金については、今後検討したい。

問 多目的総合グラウンドの進捗状況は。

答 社会状況に沿った形で、事業規模・事業費の積算・立地条件基礎調査が必要で、関係部局と次期実施計画を協議し、今後財源も含め早期着工に努める。

問 健康増進・青少年育成、観光に効果が見込め新規事業として振興すべきではないか。

答 観光振興・健康増進に効果が期待される。建設には多額の財源が必要で、多面的に検討し着工を目指したい。

※その他、各学校の室内使用校旗を購入する際高額であり補助は出来ないか、質問いたしました。

平成二十年度 人吉市歳入歳出決算を認定

○委員長 笹山欣悟 ○副委員長 松岡隼人
○委員 井上光浩 川野精一 松田 茂 永山芳宏 本村令斗

平成二十年度人吉市歳入歳出決算を審査するため、決算特別委員会では、六次の指摘・要望事項を付記し、賛成多数で認定することとし、十二月定例会議においても認定されました。
なお、指摘・要望事項は次のとおりです。

1. 税・使用料・負担金等については、未収金の解消を図るため、引き続き収納対策を講じ、自主財源の確保に努めること。
2. 補助金の支出については、各団体の実施検査を行うことで一定の成果を上げることができている。今後は補助効果を十分に把握して、引き続き使途・事業内容について精査し、補助金及び団体等について見直しも含めて適正な処理を行い、効果的な運用が行われるよう努めること。
3. 事務処理については、今後さらに事務の多様化・煩雑化が進む中で、市政全体に対する市民の信頼を損ねることのないよう、管理体制の強化や職員研修を実施するなどして、適正かつ迅速な事務処理をされるよう要望する。特に予算の補正・流用等には細心の注意を払われたい。
4. 公有財産の運用・活用については、遊休資産を含めた財政・利用計画等の検討を行い、持続可能なまちづくりを実現するため、市民の要望も踏まえ処分なども視野に入れて速やかに対応されるよう要望する。特に山林の管理については、人吉市森林整備計画書及び森林施業計画書に基づいて、計画的・適正に管理されるよう要望する。
5. 道路及び河川等の維持管理については、人口減少及び高齢化が加速している現状を踏まえ、将来を見据えた計画と予算の確保に努めるよう要望する。
6. 人吉球磨地域交通体系整備特別会計においては、依然として基金減少が続く危機的状況にある。くまがわ鉄道の利用客が減少する中で、今後は住民の利便性の向上を図るための交通ネットワークの構築の推進等、住民の交通手段の確保に努められるよう要望する。なお、基金の管理については、広域にわたる総合的な計画の策定など、広域的な行政事務の実施等が求められる状況を見極めながら、人吉球磨広域行政組合で行つこと等を検討されるよう要望する。

12 月定例会における議案等の審議結果

番 号	件 名	議決結果
議第 80 号	平成 2 0 年度人吉市水道事業特別会計決算の認定について	原案認定
議第 90 号	平成 2 0 年度人吉市歳入歳出決算認定について	原案認定
議第 93 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 21 年度人吉市一般会計補正予算（第 6 号））	原案承認
議第 94 号	平成 2 1 年度人吉市一般会計補正予算（第 7 号）	原案可決
議第 95 号	平成 2 1 年度人吉市一般会計補正予算（第 8 号）	原案可決
議第 96 号	平成 2 1 年度人吉市カルチャーパレス特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議第 97 号	平成 2 1 年度人吉市カルチャーパレス特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議第 98 号	平成 2 1 年度人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議第 99 号	平成 2 1 年度人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 5 号）	原案可決
議第 100 号	平成 2 1 年度人吉市介護保険特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議第 101 号	平成 2 1 年度人吉市介護保険特別会計補正予算（第 5 号）	原案可決
議第 102 号	平成 2 1 年度人吉市介護サービス事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議第 103 号	平成 2 1 年度人吉市介護サービス事業特別会計補正予算（第 5 号）	原案可決
議第 104 号	平成 2 1 年度人吉市水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議第 105 号	平成 2 1 年度人吉市水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議第 106 号	平成 2 1 年度人吉市公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議第 107 号	平成 2 1 年度人吉市公共下水道事業特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議第 108 号	平成 2 1 年度人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
議第 109 号	人吉市職員の給与に関する条例及び人吉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第 110 号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第 111 号	人吉市教育委員会の教育長の給与及び勤務時間に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第 112 号	人吉市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第 113 号	人吉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第 114 号	人吉市養護老人ホーム延寿荘条例等を廃止する条例の制定について	原案可決
議第 115 号	熊本県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更について	原案可決
議第 116 号	市有財産の譲与について	原案可決
議第 117 号	損害の賠償について	原案可決
議第 118 号	損害の賠償について	原案可決
議第 119 号	平成 2 1 年度人吉市一般会計補正予算（第 9 号）	原案可決

請 願 ・ 陳 情 の 審 査 結 果 に つ い て		
委 員 会	請 願 ・ 陳 情 の 内 容	審査結果
総 務 文 教 委 員 会	永住外国人地方参政権付与法案に反対する意見書の提出を求める陳情	継 続 審 査
	改正国籍法に関する意見書の提出を求める陳情	継 続 審 査
	多目的運動広場建設に関する陳情	継 続 審 査
厚 生 委 員 会	産業廃棄物処理施設計画中止の意見書提出を求める陳情	撤 回
	消費税増税に反対し、住民税を元に戻し、社会保障の充実を求める陳情	不 採 択
	後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書の提出に関する陳情	継 続 審 査
	介護保険制度見直しに関する陳情	継 続 審 査
	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書の提出を求める陳情	採 択
経 済 建 設 委 員 会	国の責任で、安心・安全な国土づくりを求める意見書提出に関する陳情	継 続 審 査
	「仕事のない事業組合への 4000 万円以上もの血税のムダ遣いをやめて、事業組合の解散を決議すること」を求める陳情	不 採 択

編集後記

新年明けましておめでとうございます。
昨年は四月二十五日の SL 人吉の営業運転開始により、人吉球磨に新たな観光の芽生えが興り、春と秋に行なわれた、じゅぐりつと博覧会では市民と行政の協働による企画で展開されて、市内外の皆様方に好評を博した事は、大変うれしい出来事の一つでした。一方で先の見えない経済状況の中、当市においても、失業対策として年末に緊急雇用策を実施し九十九名の方々の仕事を確保出来た事は意義ある施策だったと思います。今年は寅の年です。神社では寅の刻を物事の始まりであると捉えられています。まさしくこの云われのとおり、この人吉では何かが躍動する、そんな一年になるのではないのでしょうか。
私達人吉市議会も、胸躍り高鳴るような年になる事を心から願ひ、市民の皆様の益々のご多幸を心から祈念いたします。
(文責：松田 茂)

【議会報編集委員会】
委員長／大王英二
副委員長／箕毛正勝
委員／松岡隼人
松田 茂
井上光浩
田中 哲
下田代勝
本村令斗

次の定例会は三月です。